

町医者だより

<発行・お問合せ先>

おおわだ内科呼吸器内科

院長 大和田 明彦

市川市南八幡4-7-13

シャポール本八幡2階

JR本八幡駅南口(シャポール改札口)

2分ミスタードーナツ並び

ヘアサロンAsh向かいビル2階

電話 047-379-6661

おおわだ
内科
呼吸器内科

令和07年07・08月号

疑義照会

疑義照会は、ぎぎしょうかいと読みます。一般の方は聞きなじみがない単語だと思います。これは薬剤師法第24条で「薬剤師は、処方せんに疑わしい点があるときは、その処方せんを公布した医師、歯科医師又は獣医師に問い合わせ、その疑わしい点を確認した後でなければ、これによって調剤してはならない」とされています。薬剤師にとっては必須の事項です。疑義照会は処方する側にとっても大変ありがたいシステムで意図しない処方ミス無くすのになくしてはならないものです。ただ、以前からわざと疑義照会をしない調剤薬局があるのではないかという疑念がありました。例えば、ムコダインと言う痰切りの薬があるのですが、当院ではデホルトを1日処方にしていたのですがそのまま1日分だけ患者に渡されてしまっている事がありました。もちろん疑義照会はありませんでした。現在はこれに懲りてデホルトを14日に変更しています。これまでは疑念に過ぎませんでした。本当に疑義照会を意図的にしない調剤薬局がある事を今年の7月に知りました。船橋市の調剤薬局です。6月には余っていたが7月にレルベアを追加してほしと受付での会計後に言われてレルベアを追加して処方箋を発行し直しました。ところが、次に来院した際に前回の処方箋にレルベアが入っていないと言われました。薬局で貰った薬を確認したらレルベアが入っていない事に気づき、わざわざ調剤薬局に出向いたのですが、処方箋にはレルベアが入っていないの一点張りだったそうです。船橋市にある調剤薬局に電話したところ、処方箋にレルベアは入っていない、疑っているならファックスします！との事です。どうやら修正前の処方箋を患者さんに渡してしまったようです。薬剤師に、患者さんもわざわざ戻ってきてレルベアが入っていないと言っているのになんで疑義照会しないのかと問い詰めたところ、帰ってきた答えにびっくりです。「え～疑義照会しても良いんですか？」。それは調剤薬局の義務でしょと当方が声を荒げていうと「今度から疑義照会します」との返事でした。その答えから想像に難くないのは船橋の医者は疑義照会するとおそらく俺様の処方につけろのか怒り狂う輩が多いのだと思われまふ。そういえば船橋中央病院の医師も紹介に対して何も返事をくれませんし、コロナパンデミックの時に発生届を船橋市保健所に提出したところ職員と名乗る男が本当にコロナなのかデータは正しいのかと大変失礼な電話をしてきました。船橋の医療関係者はどうやら勘違いしている輩が多いのかもしれない。処方箋を回してもらえなくなるからと疑義照会した薬剤師がクビになった話が10年前の医療情報サイトに掲載されていました。